

染協

2022.11-12月号

vol.339

DYEING REPORT

ニュース

CONTENTS

ファッション・トレンド

02 2023年春夏プルミエール・ヴィジョン・パリ

一般財団法人日本綿業振興会

ファッション・ディレクター 柳原 美紗子

SDGs

07 繊維業界におけるサステナブル認証ラベルの役割

一般社団法人日本サステナブル・ラベル協会

代表理事 山口 真奈美

統計

14 染色整理加工実績推移(数量・金額・従業者数)

15 ニッセンケンだより

16 お知らせ、主要行事、編集後記



NAGASE-OG COLORS &
CHEMICALS CO.,LTD.

オー・ジー長瀬カラーケミカル株式会社

オー・ジー長瀬カラーケミカル(株)は染料や機能付与薬剤の販売を通じ
繊維加工業界において、染色・仕上げ加工に関する
『知恵(Wisdom)と知識(Intelligence)と技術(Technology)』を継承してまいりました

これからも、環境に適応したカラーとケミカルで
暮らしに彩りと快適をお届けします

* 連絡先(国内)

オー・ジー長瀬カラーケミカル株式会社

本社 〒550-8668 大阪市西区新町1-1-17

<http://www.ognagase.co.jp/>

大阪 営業統括部 06-6535-2221 東京 東京営業課 03-5645-0600

東海 東海営業課 052-963-8901 北陸 北陸営業課 0776-36-8901

管理 経営管理部 06-6535-2200 技術 WIT事業室 06-6379-3111

* 連絡先(海外グループ会社)

中国 長瀬欧積有色化学(上海)有限公司 (86)-21-5426-1812

高耐光堅牢度


Sumifix Supra LF シリーズ

 住友化学株式会社

化成品事業部

〒103-6020 東京都中央区日本橋二丁目7番1号 東京日本橋タワー

TEL:03-5201-0262

 住化ケムテックス株式会社

染料・化成品事業部

〒541-0041 大阪市中央区北浜 2丁目2番22号 北浜中央ビル3階

TEL:06-4706-9301

<https://www.chemtex.co.jp/>

ヒラノグループの技術が好評です

高付加価値化・高機能化が進む繊維は、新素材や複合素材
或いは特殊繊維組織への対応が求められています。

株式会社 **ヒラノK&E** は、このような市場ニーズにお応えします。



SHRINK SURFER

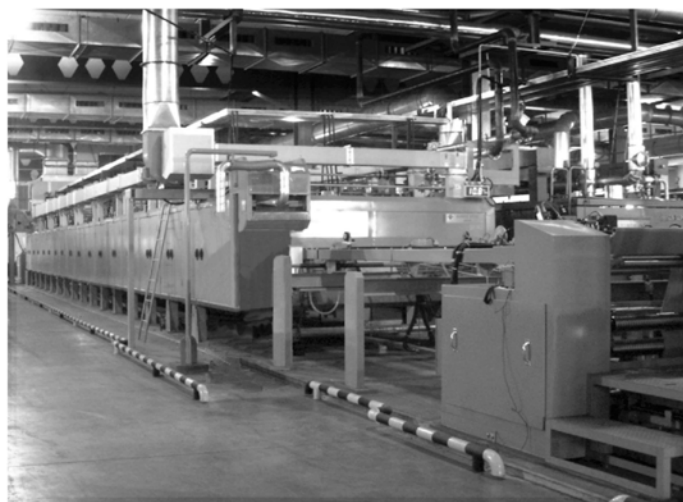
シュリンクサーファ

- あらゆる繊維素材・織編組織に対応します。
- 強力ジェットエアピーティングが、風合・防縮加工に最適です。
- ネットコンベア搬送により、経緯完全ノーテンション加工処理が出来ます。

SIMPLEX TENTER

シンプレックステンタ

- 大幅な省エネルギーが達成できます。
- 衣料用から産業資材まで広範囲に使用できる汎用タイプです。
- 風速の均一化、温度の均一化には万全の技術対応をはかっています。



当社は、**真空成膜機械** と **繊維関連機械** の製造・メンテナンスをおこない、
様々な業界のお客様のニーズにお応えしています。



HIRANO K&E

株式会社 **ヒラノK&E**

〒636-0051 奈良県北葛城郡河合町川合101-1

TEL. (0745) 57-2141 FAX. (0745) 57-1265

<http://www.hirano-ke.co.jp/>

ファッション・トレンド

2023年春夏 プルミエール・ヴィジョン・パリ

一般財団法人日本綿業振興会

ファッション・ディレクター 柳原 美紗子

2023年春夏向けプルミエール・ヴィジョン(以下、PV)パリは、今年2月8日〜10日のリアル展(パリ・ノール ヴィルパント見本市会場)と、2月7日(月)〜11日(金)のデジタル・ウィーク(オフィシャルサイト)のハイブリッド方式で開催された。

イベント全体の出展社は前回を上回る41か国1,080社で、日本からも25社(内デジタル展のみ9社)が出展した。来場者は74,600名(2021年9月展比18%増)で、アジア諸国の存在を欠いたものの、コロナ危機前の活気を取り戻した。

≡全般傾向

クリエイティブなエコ志向

ここ数年間、PVパリが推進しているコンセプトがサステナビリティ(持続可能性)である。環境への配慮を目指す製品・アイデア開発は、留まることを知らない勢いで進化している。2023年春夏はファブリックを始め副資材・アクセサリなど全ての部門において、クリエイティブでありながらエcoresponsibility(レスポンスビリティ)を志向する動きが浸透し、見本市全体をカバーする大きな潮流となっている。

これを踏まえ、PVパリのモードチームがスポットライトを当てたのは、クリエイティブかつサステナブルなイノベーションで、トレンドは自然のメカニズムや生態現象を探究し模倣する方向へと大きくシフトした。

サステナビリティに特化したフォーラム「ドゥー・イット・サステナブリー (Do it sustainably)」も新設され、サステナ



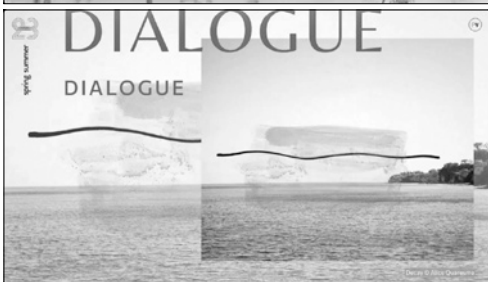
ブルな天然素材、とくに植物繊維やリサイクル、生分解性、バイオポリマー加工など、シーズンのイノベーション素材に大きな目が注がれた。カンファレンスもエcoresponsibility(レスポンスビリティ)にテーマを絞って行われた。

原材料から製造過程にいたるまで、エコおよび倫理を志向する流れは、広い意味でのファッション産業の創造性と創意工夫の証と受け止められている。環境と社会への責任を意識した素材開発や、環境へのインパクトを減らした製造ソリューションへの投資に力を入れる業界の動きがこれまで以上に注視される。

エコと「目新しい楽しさ」の対話

前回9月展はロックダウン後の解放感からファンタジーへの欲求に目覚めたシーズンだった。今回はそこにサステナビリティへの大きなうねりが加わった。2023年春夏は理性的なエcoresponsibility(レスポンスビリティ)とファッションの持つ「目新しい楽しさ」がバランスを取りながら対話するシーズンになる。

エコとファンタジーというと相対する概念と思われるがちだが、今やあらゆるものが相互に影響し合う複雑な世界に突入している。リアルとバーチャル、ナチュラルとアーティフィシヤル、スローとファストといった二元的な概念は、対立ではなく共存であり、そ



れ以上に結びつき、対話している。

流行を追うファッションの楽しみと社会的責任を意識した製品開発を対峙させず、この二つの間に橋を架けて均衡を図る。これにより感動、自由な発想と、強いエコ意識に繋がりを生み出し、意表をつくカラーやデザインを追求して製品の既成概念をひっくり返すことがクリエイションを豊かにする。

自然「水」からのインパクト

「自然を模倣したテクノロジーで、今までになくクリエイションをつくる」と語るのは、PVファンクションディレクターのデゾリナ・ズーター氏。23年春夏は、自然からのインパクトがことさらに強調されるシーズンとなる。

とくに注目されるのが、循環して地上の生命を潤す「水」である。水は流動する万物の象徴と位置づけられ、自然とテクノロジーの二重性、つまりハイブリッドを象るものとして描かれる。



2023年春夏は、この二面性を反映するファ

ブリック、すなわちファッションの楽しさと環境に対する責任という二つの命題に応えるファブリックが主役。自然を模倣したり、垣根なく流動して何の先入観もなく行き来したり。新たなジエンダーレスも台頭する。エレガントなシルクは活動的なスポーツと、スポーツはきちんとしたテーラリングと、テーラリングはリラクセスしたカジジュアルとミックスされる。カラーもナチュラルカラーとともに、デジタル世界を連想させるトニックカラーが開発されている。

カラー傾向

自然とデジタルへ誘うカラー

2023年春夏カラーは、自然の深みとデジタルの広大な世界へと誘うレンジ。力強く深みのある色、活力と勢いのある色、繊細なピグメントの色合いなど、様々なタイプのトーンが共存し、相互にリンクして、ジエンダーの流動性を促し、色彩の横断的な使用を容易にしている。PVカラーは次の3つのラインで展開されている。

① ストロング&ルーツ

大地と植物界からインスパイアされた堅実で地に根を下ろしたカラー。厚みのある肥沃な色に砂を思わせる乾いたカラーを組み合わせて、有機的な色彩世界を構成している。

② センシティブ・シェード

ブルーからピンクへと滑らかに変化する感受性豊かなカラーパレットで、暖色と寒色の間を揺れ動くやわらかなハーモニー。

③ ヴィム&ヴィガー

エネルギーッシュで弾むようなトニックカラーで、デジタル世界の速度と光りを表現する。

シーズンの注目色

今シーズン、焦点となってくるのは次の4色。

● ホワイト

漂白など化学物質使用による環境への悪影響という問題がつきまとうが、現在では遜色のないピュアホワイトを得られる代替技術が存在する。今季はテクスチャーや感触に触れて、実体感のある素材の白とデジタル機器のモニターが発する輝かしいホワイトの双方が焦点となる。

● ブラック

最も多く使われているカラーであり、海藻などの天然染料の利用が進み、ウルトラダークな黒を実現するサステナブルな代替ソリューションが登場している。



●ブルー

前シーズンに続くピンクと並ぶ人気色で、クラシックなマリンブルーに限定されない様々なニュアンスのブルーが台頭。新たなデユオとしてグリーンとブルーが涼しげに、また穏やかな強さを持つツートーンカラーで浮上している。

●リサイクルカラー

糸や生地、ウエアのリサイクルは知られているが、テキスタイルの繊維も極小の色付きパウダーに加工して、顔料として様々な素材の色付けに使う技術が開発されている。

天然染料や、環境へのインパクトを減らした染色ソリユーション、さらに未加工の天然繊維本来の色への関心も高まっている。

≡ファブリック・ハイライト

エミネントリー・ナチュラル (EMINENTLY NATURAL) きわめてナチュラル

エレガントでナチュラルな素材感とカラー。リネンなど植物繊維やリサイクル素材の使用、及び様々な機能を標準装備している。

●フックでナチュラル (naturals at work)

リネンやヘンプといったナチュラル素材が人気を集める。ボックス型シルエットのリラックとしたスタイルに向けて、完璧な品質とすつきりとした外観で。洗練されたチノ、またインターロックや空調ジャージー、先染めストライプもリズムをつくる。

●パフォーマンスとナチュラル (performant & natural)

シティとスポーツのナチュラルのクロスオーバー。シンプルだが高機能。シルエットはミニマルで、キモノ風ジャケットも登場する。機能性と快適性と美的感覚のバランスをとるアウターウエアとシティウエアを繋ぐ生地。レインコート用クラシックコットンやダブルフェイス、ニットのような布帛の撥水トレンチコート用生地など、目に見えない革新的機能がシティライフに採り入れられる。

●進化したリステイック (upgrade rusticity)

素朴なラステイック素材に興味深いひねりを加えてアップグレード。目につくのが自然素材のツイードで、パンチの効いたマルチカラー効果や、グラデーショナルテープに生成りを組み合わせたファンシーヤーン使いなど。リネンタッチは光沢を加えて、よりシャインになりセンシユアルに。

●壮大な自然 (spectacular nature)

大自然のカントリースピリッツを備えたデザイン。シティライフにマッチする素朴な花の再解釈。手織り風や手仕事を思わせるエンブroidアリー、ヒッピー風の花模様、おばあ様の時代にフィーチャーしたようなかぎ針編みのブラケット、



昔風のカーテンのように見えるレースも。

ヤンタイプ・フレナイティティ (SENSITIVE FLUIDITY) 繊細な流動性

視覚的なやわらかさとドレープ性、弾力性を備えた表面感。テクスチャー効果を高める「水」からのインスピレーション。

●繊細な未加工性 (sensitive rawness)

プリーツやシャーリング、シワで縮んだような効果のパリツとしたリネン、また細かい粒子状やエンボス加工などによる不規則な表面感。さらにレザーでの表現。生物の構造や機能もたらずバイオミメティクス(生体模倣)を活用したのも。

●ウイックな流動性 (tonic fluidity)

ニット中心にダイナミックな流動性バーション。スエットシャツ地はニットを超えて織りを模倣し、洗練されたニーズに対応するものへ。軽い半透明のニットやパンツ用のフィラメントニット、フリース、第二の皮膚感覚のニットも。カジユアルなアイテムに向けてストレッチの快適性や流動感、水に反射する光の涼しい輝きも焦点。

●水の反射 (watery reflections)

艶やかに反射し、濡れたような光沢を見せるコーティングやラッカー加工。透き通った水よりも海や湿った海底、海藻を思わせる色使い。レザーやレザー加工のものが多く、クロコダイルやエキゾティクレザーなど甘美でリッチに仕上げた型押しも。

●水のものがたり (water stories)

水に着想。プリントや織り、刺繍、オパール加工や箔、ラメなどのテクニックでファンタジックな水のイメージを表現する。水彩風のタッチや、深海を思わせる波打つモワレ、人魚の鱗のようなスパンコール装飾など。またプラスチック製海洋廃棄物からつくられるリサイクルナイロン使用や、ウォーターレス、トレーサビリティーなど、サステナブル素材であることを表示するものが多く見られるのもこのグループ。

タクタイル・ライトネス (TACTILE LIGHTNESS) 軽さ感触

触覚の意外な軽さにフォーカス。透け感や光沢も。あらゆる素材にエレガントなダイナミズムをもたらす、テクニカルパワーに注目。

●エアリーで快適 (airy & comfy)

軽く薄いストレッチ性のある素材は、風通しがよく快適。さわやかなタッチの繊細な半透明テキスタイルや風通しのよいストライプのメッシュニットなど。時代を超越したエレガントでシンプルな表現が素材の美しさを際立たせる。リサイクルニットやリサイクルコットン使用も。躍動感のあるカラーで、遊び心をエンジョイする。

●軽や増殖 (lightness multiplied)

今シーズンは倍増する軽さが特徴。ほぼ無重力のような薄葉紙を思わせる素材、針抜きでより軽くなったクレープや楊柳、繊細なオーブリーク、レース風の生地、フローティングヤーン使いのカジュアルファンタジー。

●紙のよい感触 (Papery feel)

紙のようにドライなたッチで弾力のある風合いは今シーズンのお気に入り。新しい汎用性を与える様々な機能をプラスした、テクニカルな素材で表現され、超軽量ウインドブレーカー向けなど、スポーツやアウトドアに最適。シワクチャの白いページのように見えるもの、クラフトペーパーのような感触のもの、またカラフルなオーバーレイが楽しめるトレーシングペーパーのもの。

≪ファブリック・ポイント

●サステナビリティ

今シーズンの主役は、多様性とトレーサビリティ。環境に配慮した素材や工程が急テンポで広がり、原材料から最終加工に至るまで、地球上のあらゆる経路がたどられて、その影響度が分析されている。サステナブルなヤリネンやコットン、ヘンプ、リサイクル素材、植物性タンニンなめし革といった定番の素材にとどまらず、環境負荷低減のための資源や技術が持つ様々な



クオリティが提案されている。

●植物繊維の優越性

リネンやコットンを中心とした植物繊維が表現する、きちんとした上質感や清楚さ、完璧な滑らかさがクローズアップされる。手に触れて実感できる、その自然な風合いに目が注がれる。秀でたホールド感を実現するために、打ち込み密度は緻密に計算されている。ニートなシャツ地に注目。またヴィンテージ風のしなやかで美しいレディススーツ向け生地も。

●勢を増すタクタイル (触わって感じられる感覚)

テクスチャード加工や凹凸効果のある素材。リップルや塩縮、サツカー調の繊細な感触。また見た目は柔らかく、弾むようなバネ性のある表面感、ペーパータッチ、シワづけたクラフトペーパーやトレーシングペーパー風のもの。

さらにほつてりとしたふくらみのあるジャカードや、シルキーなバスケット織のようなキルティング効果、立体感を強調した幾何学モチーフのエンボス加工など。

●センシティブな流動性

シルクパウダーのように滑らかでフリユイドなクレープデザインを思わせる風合いや、より繊細で流れるようなドレープ性のあるシルキーなサテン。ベルベットのような、スベスベした落ち感の不思議な感触のものも。色彩はくすみがないというよりはむしろ華やかで、輝くラメ使用、水が反射して光っているような濡れた光

沢感のものも。

●牧歌調ファンタジー

23年春夏の装飾に見られる、不思議なパラドックス！一つはひなびた地方への憧れ、田舎の家にありそうなキッチンリネン、民芸品のアーカイブ、野の花のモチーフ、クロスステッチ刺繍、かぎ針編み風など、カントリースピリット。その一方で、蛍光ペンやアーティフィシャルなものを好んで使うテーマもある。ケミカルな光りを放つツイードや、スポーツやゲームの世界にありそうなジャカードやレース、刺繍など。

●シャーディング(シャツ地)

メインはストライプ。性別にとらわれない、少しフェミニンな雰囲気を出すクラブストライプや大胆な太目のストライプ、華やかなリボンストライプ、美しいハーモニーの幅広いバヤデル(多色の横縞)まで、様々なストライプが登場する。

またソフトに震える表面感のシャツ・ブラウス地も多い。クレープボイルや繊細なエアリー、透かし織り、軽やかに風をはらむシアサッカーやクレポン、からみ織など。洗ひ晒したナチュラルや白っぽいパステル、パリッとした白のドレスシャツも。

●マスキュリン・コート&ジャケット

フレッシュな清涼感が前面にプッシュされる。陽晒した色彩、風通しのよい軽さ、ドライなタッチなど、豊かさは糸やテクスチャーの細部に隠されている。

とくに欠かせないのがチェック。とくに目新しいのがポップ感覚の、色鮮やかな大柄のチェック。またツイードはユニセックスで用いられ、メンズ向けにファンタジー性の高いテクニカラーのツイードが登場している。

さらにナチュラルなリネンや麻混コットンが人気。端正で滑らかな表面感の中に、自然の趣を感じさせる表情のある風合いで。

●デニム・ファンタジー

オフビートで楽観的、多面的なファンタジーが台頭している。手仕事による仕上げや、儂げな色から大げさな色まで、様々なカラーバリエーションとアクセサリーで、今シーズンのデニムはより個性的に演出される。

主役はカラーで、虹のように、またパワフルでダイナミックな色彩で、その強さと活力を際立たせている。フューシャピンクのオーバードイでガーリーに見せたり、明るいグリーンやイエロー、蛍光色でアクセントをつけたり、ほやけた形は抽象的な水彩画のパターンを模している。

タイ&ダイのデザインも再構築。レーザープリントによるよりソフトなファンタジーや、オゾンウオッシュを施した儂げな波のようなイメージなど。

アップサイクリングや、端切れなどデニムのパッチワークで、独自のビジュアルを訴求する楽しいものも見られる。

●用途を広げるニット

数シーズン前から、ニットと織物はそのアイデンティティを入れ替えている。ニットはよりしつかりと安定的に、織物はより柔軟に変化して、潜在的な用途を広げている。

今季特に目立つのは、上品で滑らかな手触りを実現した流動感のあるニット。例えばコットン・フリースなど、従来のイメージを変えるものが現れている。

またメッシュやネットなどの新しい透かし編み。アイレット刺繍のような透かし模様ジャカード、さらにプリーツのように開くことができるエアリーなリブなど、機能的であると同時に装飾的でもあるニットが多くなっている。

●プリント

グラフィックな壁紙やフラットな花、モダンな幾何学模様、ブロック、スクリーンプリント、シンプルなものモチーフなど、60年代の写真集に真っ向から飛び込むようなポップデザイン。また軽快なコットン地に広がる花畑の模様、風に揺れる野草や雑草、繊細なブルメチスの花。さらにシマウマや遺伝子組み換えのヒヨウ、巨大な蝶々、人工的な色彩のサイケデリックなカモフラージュなど、トリッピーなアニマルプリントはメタバースのサファリのように。現実から逃避し、魔法のメガネで見て楽しむプリントが登場している。

繊維業界における サステナブル認証ラベルの役割

一般社団法人日本サステナブル・ラベル協会
代表理事 山口 真奈美

1 はじめに

私たちが暮らす地球。その環境も人類も、少なからず危機的状況や気候危機などが叫ばれ、持続可能(サステナブル)な取り組みがあらゆる方面で求められるようになってきている。2015年、国連サミットで「我々の世界を変革する…持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、人間、地球及び繁栄のための行動計画として、SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)が掲げられた。国連に加盟するすべての国は、全会一致で採択したこのアジェンダをもとに、2015年から2030年までに、貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会など、持続可能な開発のための諸目標を達成すべく力を尽くすと宣言。しかし、2022年、ロシアによるウクライナ侵攻や、様々な原材料における調達課題が顕在化し、持続可能な責任ある調達は事業者がどのように実践していくかが更に問われる時代となりつつある。

特に日本は、繊維製品の原材料の多くを様々な国から調達して製品を作り、最終製品が販売され消費者の手に渡る。原材料も製造の加工流通においても、多くの国の恩恵を受け、その調達先である自然環境や、工場における環境汚染や対

策、労働や人権など社会的課題に至るまで、環境社会的課題を少なからず抱えながら生産されていると言えよう。そのサプライチェーンにおける課題をどのように改善していくのか、特にアパレル・小売り店をはじめ、川下の企業が上流の状況や調達の在り方を確認するのは、必ずしも容易ではない。更に、様々なパーツを用いたり、サプライチェーンが複雑になればなるほど、その裏付け情報を得るのが困難となる。

そんな状況下において、原材料の調達から最終製品が出来、その販売に至るまで、環境社会的配慮がされたサステナブルな製品を製造し、消費者へ提供していくためにサステナブル認証がどのような役割を果たすことが出来、人間社会と自然との調和を目指したビジネス展開に繋がられるのかを考察する。

2 繊維をめぐる環境・社会的課題

昨今、SDGsやサステナブルという言葉が頻繁に使われるようになり、サステナブルファッションにも注目が集まるようになった。CO2排出量は、日本のファッション産業では原材料調達・製造段階で90%を占め、海外での環境負荷の実態把握と削減も重要であり、環境省でもその推進を行っている¹⁾。

また、繊維製品の原材料の中でも、例えば綿花栽培地などでは、以前より遺伝子組み換えや農薬・化学肥料の課題が指摘されていた。空中散布による大量の農薬が農地へ降り注ぎ、収穫時は枯葉剤が撒かれ、またインドなどでは子どもたちが学校に通えず一日中働いている児童労働もあり、地域、環境への影響は、土壌劣化、水不足、水質汚染、生物多様性の喪失などの環境面や、健康被害、過酷な労働条件や労働環境、児童労働・強制労働などの人権問題など、社会的課題も指摘されている。

筆者が訪れた様々な国でも、例えばインドでは綿花栽培地において、子供たちが受粉作業を行っていた。その子供たちは皆、口数も少なく笑顔も見られず、淡々と仕事をしている。今の作業はどう思っているのか聞くと、「自然が好きだからいいの」と言ったり、以前は学校に通っていたが、弟を通わせるために、自分が働きに出て、家族を支えているという女の子もいた。目は輝きを失い、炎天下の中、朝から日が暮れるまで過酷な状況で働く姿に、言葉が見つからなかった。そして、NGOやその活動を支える企業などの力で学校に子供を通わせるプロジェクトの現場では、学校に通っている子供たちは笑顔が絶えず、夢をもって学校が好きだと言っている。同じ時代に同じよ

うな年齢の子どもたちが、その時代をどんな環境で育ち、学習の機会を奪うことなく、成長を見守れるか、それは遠からず日本の企業や消費者の影響もないとは言えない。そして、そのままだ大人になり、楽しく暮らせば良いが、学習の機会がなかったために計算もままならず、実際に働いても、稼げているのか、借金の方が大きくて損をしているのか、育てた綿花の売価や取引での計算も曖昧で借金で苦しむ人もいる。

また、加工流通過程においても大きな課題が潜んでいる。2013年バンングラデシュで起きたラナ・プラザの崩壊事故では、多くの犠牲者が出たが、そこでは世界中のファッションブランドの製品を作っており、その劣悪な労働環境や安価な賃金での労働状況が論議を呼んだ。私たちが普段着たり、事業者側からすれば製造している製品が、どこからどのように原材料が調達され、どの国のどこで誰が生産に携わり、販売に至っているのか、そのサプライチェーンにおける環境社会的リスクをいかに把握し対処していくのか。どこかの土地で育てられた綿花を糸にし、製造され、繊維製品として出来るタオルや洋服などを、日常で私たちは買っている。そして使っている。また事業者はその販売側にいる。これらの製品のサプライチェーン



インドの綿花栽培地で働く子供たち(児童労働の現状)

3 サステナブル認証制度
 持続可能な責任ある調達を実践し、そのサプライチェーンにおいても、環境社会的課題を回避し、消費者に確かな製品を届けるために、様々な認証制度が存在する。では、認証とは何か。認証も様々なタイプのものが存在する。

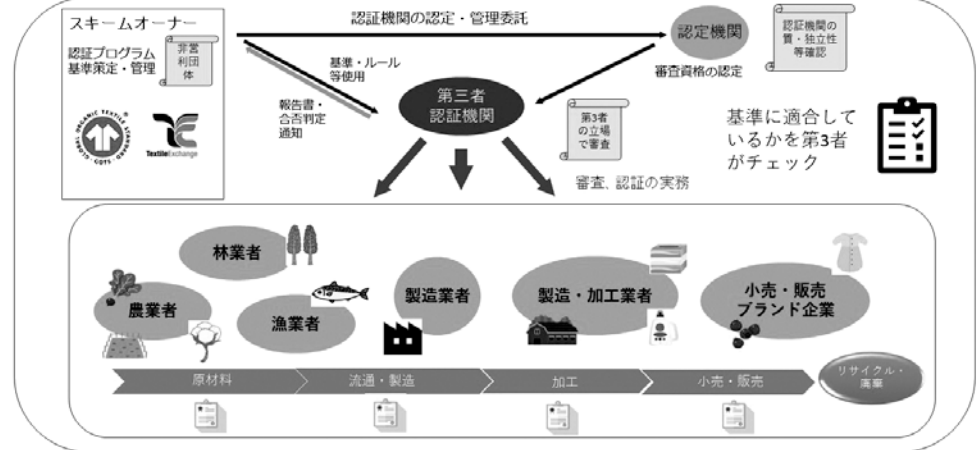
当事者が自ら確認する第一者認証(自己認証)、取引先や事業者同士などによる第三者認証、利害関係の無い第三者認証機関による第三者認証などである。また、タイプも様々で、書類の確認だけなのか、事業者や現地へ立ち入る審査なのか、また審査の頻度も含めて、認証といても濃淡がある。更に、品質を保証している認証なのか、マネジメントが中心か、製品のトレーサビリティを含めた認証なのか、多くの基準や制度が存在する。

さまざまなサステナブル・ラベル

FSC® 「責任ある森林管理のマーク」(FSC label)
 レインフォレスト・アライアンス 認証マーク (Rainforest Alliance Certified seal)
 OCS (Organic Content Standard)
 MSC 「海のエコラベル」(MSC ecolabel)
 国際フェアトレード認証ラベル (FAIRTRADE Mark)
 GOTS: オーガニックテキスタイル世界基準 (Global Organic Textile Standard)
 ASC 水産養殖管理協議会 (Aquaculture Stewardship Council)
 有機JAS (Organic JAS Logo)
 RSPO: 持続可能なパーム油のための円卓会議(Roundtable on Sustainable Palm Oil)
 FSC N002765

さまざまなサステナブル・ラベル

国際認証 (サステナブル・ラベル) の仕組み



国際認証の仕組み図

その中でも、一般社団法人日本サステナブル・ラベル協会では、持続可能な原材料調達や環境・社会的配慮につながる国際認証ラベルを総称して、「サステナブル・ラベル」と命名し、後述する繊維製品に関するGOTSやTextile Exchangeによる認証の他、森林・水産物・農産物・フェアトレードなど、様々な国際認証ラベルを紹介している。

各々の基準を有する認証のスキームオーナーは、主に民間主導型が多いが、その基準や範囲、ラベルを定め、管理している。そして、その定められた基準を元に、第三者の認証機関が審査・認証の実務を行う。その第三者認証機関も、認定機関によって、認証機関として適正な審査が行われているか、審査員の質からトレーニンング状況、そして、事業者への審査の透明性・信頼性などが確認され、認定される。認証取得側の生産地や事業者は、定められた基準に則った管理体制や、認証原材料と認証されていない原材料とが混ざらないように管理されているか、また、環境的側面や場合によっては労働条件などの社会面まで審査され、認証書がその事業者に発行される。そして、認証取得者が生産したものが、認証製品として取引され、市場に出ることになる。

4 繊維における認証(GOTS)を事例に

繊維における認証でも、品質やマネジメントを中心としたものから、先述のようにサステナブルという視点で配慮された製品の認証がある。その配慮の視点では、原料調達での配慮、自然生態系や土壌への影響配慮、環境保護の観点(遺伝子組み換えの使用の有無、森林認証の紙の使用等)、エネルギー(水やエネルギーの節約、工場等における環境配慮)、排水の管理(有害な物質の処理や、染色で使用した水の後処理)、リサイクル(ポリエステル)やリユース(合成糊)の使用、動物愛護・福祉(絶滅危惧種、生き剥ぎ、生物試験の禁止)。また、社会的配慮の視点では、

主に発展途上国(新興国)における労働環境への配慮、防火防災・訓練、労働安全衛生、勤務時間、児童労働・強制労働の有無、等も挙げられる。

先ほど綿花(コットン)の話題を事例として紹介したが、これらが基準に反映されている認証の中でも、有機栽培されたオーガニックコットンをはじめ、オーガニックの繊維製品に対する国際基準としては、GOTS (Global Organic Textile Standard : オーガニックテキスタイル世界基準)やTextile ExchangeによるOCS (Organic Content Standard)がある。OCS

オーガニックテキスタイル世界基準
Global Organic Textile Standard (GOTS)



Global Organic Textile Standard
(GOTS)



- 原料の70%以上がオーガニック繊維であること
- 加工がオーガニックな方法で行われている
- 遺伝子組換え技術を使用しない
- 水・エネルギーの使用に関して環境目標を設定している
- 毒性のある薬剤を使用しない
- 衛生的で安全な労働環境である
- 搾取や差別のない労働条件
- トレーサビリティの確保

トレーサビリティ & 環境社会的側面

原縮：国際的に認められた有機農業基準に基づいて認証されたもの

ウールやコットン、絹などの原料繊維がオーガニック
+
繊維の収穫～加工～製造～流通の全ての過程において環境的・社会的に配慮した方法が実行され、一般製品との混合や汚染がないように管理が必要

GOTSのラベルと基準

は、原料から最終製品までの履歴を追跡し、その商品がオーガニック繊維製品であることを証明しており、Textile ExchangeはリサイクルのGRS (Global Recycled Standard)や動物福祉などいくつかの認証基準を保有している。

その中で、GOTSを事例に挙げる。GOTSは摘み取った綿花を綿繰りし糸にする所から最終繊維製品が製造されるまでを認証範囲としている。

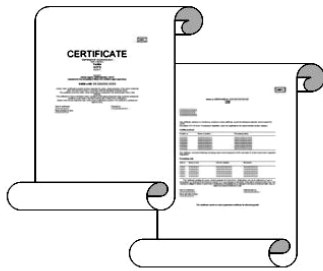
基準で規定されている主なものとして、環境社会的配慮の他、染料助剤まで規定がある。新たな動物実験や、遺伝子組換え生物(GMO)は禁止され、加工と製造における、分離や記録保持、書面による環境方針、社会的基準や、有害物質の禁止、また承認されたケミカルのみ使用が許可されている。更に、水・エネルギーの使用・廃棄物や排出物のモニタリング、廃水の適切な処理の他、投入される化学物質は、工程で使用される前にも審査される。染料助剤等全て承認される必要があり、承認された化学物質は「GOTS ポジティブリスト」に登録される。オーガニック繊維のトレーサビリティのみならず、加工製造時の有害化学物質を管理し、GOTS製品は有害物質検査の対象ともなっている。

つまり、オーガニック繊維の生産についての要件、繊維素材の組成についての要件、ケミカル投入資材の要件、工程の特定要件(分離と識別)が必要となる。また、労働条件や労働環境の整備、児童労働の禁止、労働者の権利が守られる、など社会的規範の最低要件を満たすことも求められる。

5 トレーサビリティと認証

認証はその事業者に与えられる認証からスタートする。しかし、その事業者が生産するすべての製品が認証製品とは限らない。そこで、製品に紐づく商取引の証明がある。

認証は一定基準を満たしているかを第三者が審査し証明する仕組みだが、その審査の過程は管理体制が整っているか、マネジメントの状況から管理体制の仕組み、またトレーサビリティ

Scope Certificate
業務範囲認証書

企業・団体へ認証書が発行

認証書には下記の内容が記載

- 対象団体名、認証プログラム名、有効期限
- オフィス、工場、倉庫、商社など活動に関わるユニット
- 生産・取り扱いできる製品カテゴリーと対象ユニット

Transaction Certificate
取引証明書(T/C)

認証取得企業・団体がオーガニック製品を出荷する際に発行
いつ・どこへ・何を・どのくらい出荷されたかが記載

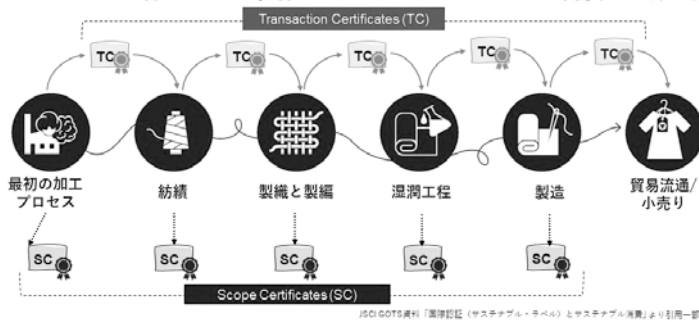
各出荷物/パッチが均一で一貫した組成の製品である事を証明するもの。商取引証明書は範囲認証書が発行された後でなければ取得できない。

認証書の種類

が追えるような追跡可能な書類やデータ管理が求められる。認証取得者には、SC (SCOPE CERTIFICATE:業務範囲証明書)、いわゆる認証書が発行され、年に一度は審査を受けて更新されていく。

また、サプライチェーンの狭間で、確かにサステナブルな原材料が使われているのか、それを判断する材料の一つが認証システムであり、認証製品だと判断するための付随書類として、TC (Transaction Certificate:取引証明書)が存在する。サプライチェーンの各バイヤーは、原材料の上流、つまり最初のプロセスや紡績企業などを辿らなくとも、認証のチェーンが繋がっていることで、その事業者が認証を取得していること、また扱う製品が認証製品だとTCによって判別することで、確実に認証製品としての保証を保つことが出来るが、その流通過程で認証取得企業以外がTCのみ受け取っても、認証のチェーンは切れてしまう。つまり、最終的には

サプライチェーンの各バイヤーは、各々のサプライヤーのSCとTCを確認するだけで済む



認証とトレーサビリティ

認証取得企業同士で繋がり製品の売買をする必要がある。その点ではサステナブルな商品だと主張したい企業は、認証を取得しなければ、製品を購入していても、ラベルを付けて販売することが出来ない。

これは、違った視点で言えば、認証でチェーンを繋ぐことで、サプライヤーを自ら遡り確認するという手間や確認スキルの有無、また第1次サプライヤーより先の加工工場や紡績などの上流まで、情報開示を要求することなく、確認不足によるリスクを認証機関や他利害関係者へ分散することも出来る。小売りに近い企業であっても、サステナブルな経営をしている企業から調達した、基準を満たしている認証製品を入手するという利点にもなる。

6 認知度と消費者動向

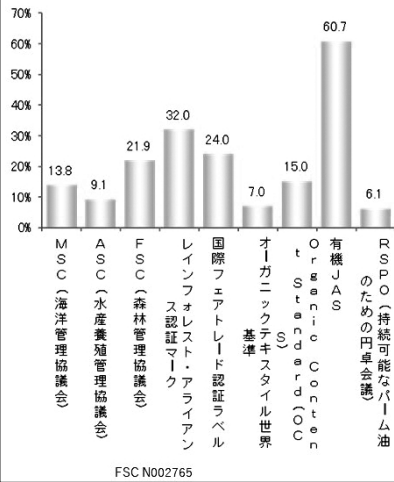
独自のラベルも多く市場に存在する中で、消費者がどのように見分けるのか、という点では、内容も含めた普及啓発が必要だが、残念ながらまだ日本では浸透しきれておらず、ラベル自体の認知度も高いとは言えない。

まず、SDGsの認知度を見てみると、電通、第4回「SDGsに関する生活者調査」の結果では、①生活者のSDGs認知率は54.2%で、昨年1月の第3回調査からほぼ倍増。10代のSDGs認知率は7割超え。②「コロナ禍を経てSDGsへの関心が高まった」人は32.4%で、SDGs商品・サービスの利用意向も高い。コロナ禍がSDGs商品の

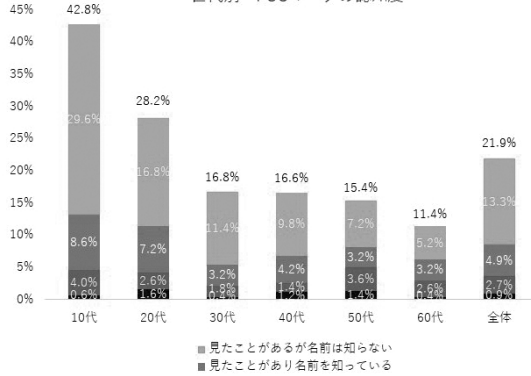
サービスマン浸透のきっかけになる可能性。
 ③積極的にSDGsに取り組み企業は社員のエンゲージメントも高まる可能性がある。
 との結果が出ている²⁾。
 更に、日本サステナブル・ラベル協会が実施した認知度調査では有機農産物の日本のラベルである、有機JASが60・7%。繊維に関係す

マーク（認証ラベル）の認知度

Q:あなたが見たことがあるマーク（認証ラベル）をすべて選んでください。



世代別 FSCマークの認知度



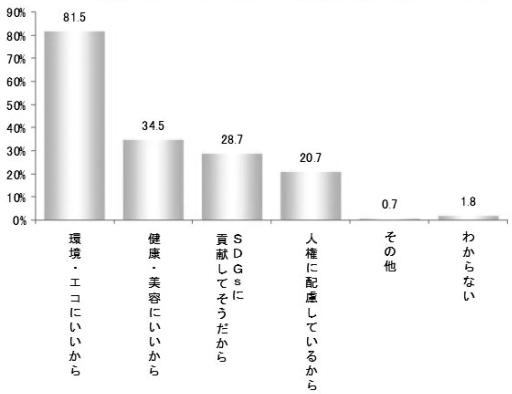
出典：一般社団法人 日本サステナブル・ラベル協会 / 「国際認証ラベルに関する認知度調査」2020年
 FSCジャパン / 「国際認証ラベルに関する調査 FSCジャパン版報告書2020」

認証ラベルの認知度

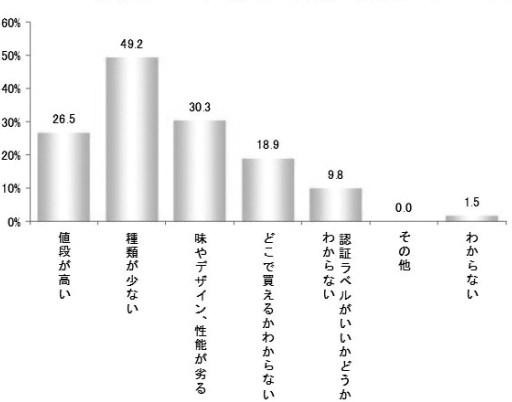
るOCSは15%、GOTSは7%という結果であった。その多くは内容まで理解していない率が高く、世代別の認知度では、例えば森林認証のFSC® (Forest Stewardship Council)：森林管理協議会)では、全世代では、21・9%であるが、その中でも10代が42・8%と最も高く、世代が上がることに認知度は下がっていく傾向がある。つまり、今の10代やZ世代など認知度が高い層が社会の中心になっていくにつれ、今購買層の中心である30代以上の層と比べ、消費動向が変化する可能性がある。

また、認証ラベル付きの商品を購入する理由と、購入しない理由をみると、購入する理由として、環境・エコにいいから、健康・美容にいいから、SDGsや人権に配慮しているからという結果が出ている。その一方、購入しない理由で、よく事業者側からすると高いからでしょ

マーク（認証ラベル）付きの商品を購入する理由



マーク（認証ラベル）付きの商品を購入しない理由



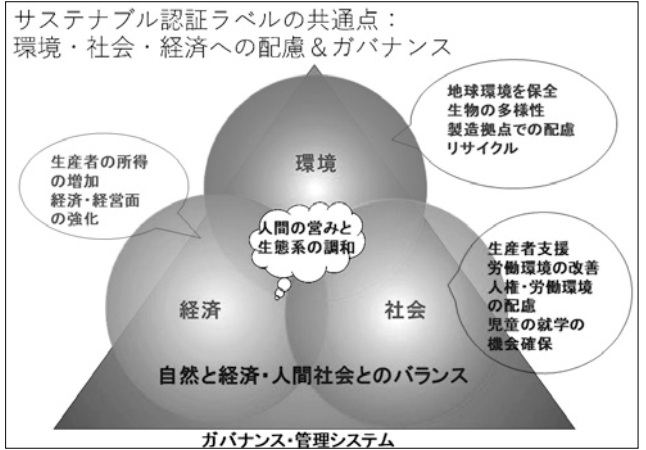
出典：一般社団法人 日本サステナブル・ラベル協会
 「国際認証ラベルに関する認知度調査」2020年

購入する理由・しない理由

う?と言われるが、調査結果からは、値段が高い、よりも、種類が少ない、味やデザイン・性能が劣る、という結果の方が高かった。そして、どこで買えるかわからない、認証ラベルがいかどうかかわからないという理由も見受けられた。この結果は2020年に実施されたもので、数値は変化していると思われるが、SDGsネイティブとも言われる彼らが社会の中心となり、サステナブルな製品・サービスが当たり前のように購入条件となっていく場合には、それらに対応する企業姿勢、製品の提供が可能。な事業者が求められる時代になるかも知れない。

7 サステナブル経営と認証の役割

環境・サステナブル調達が事業者も消費者も誰もが必然となることで、地球と人類の生存や資源・エネルギー等、危機的状況であるこの時代から、次世代が今と同じような自然や環境の恩恵を受けられる状況を提供する義務が、私たちの世代にはある。そして、持続可能であり続けるための行動変容の一つに、経済性を追うだけではなく、環境社会的配慮された原材料を選択し、加工流通過程においてもサステナブルな経営と調達の実践をすることが大切であろう。



従業員への教育に役立つという声も聴かれる。また、対外的に、自社が優れているといっても、なかなか信頼性を持ってない点を、一定の基準で証明できるという利点を活用することも出来る。

認証ラベルは業種の垣根を越えて、共通点がある。それは、環境・社会・経済への配慮と管理体制のガバナンスである。基準は各々業界や目指す世界の違いがあれど、サステナブルという視点では共通しており、自然と経済・人間社会とのバランスをどうとっていかれるか、その手段や求める項目が基準となっていく。人間の営みと生態系の調和なくして、地球環境が悪化した暁には、事業も経済も成り立たない。その根本にある原材料の責任ある調達の実践方法の手段として、国際認証制度には、いくつかの特徴や強みがある。

更に製品化されたものをワンウェイではなく、リユース・リサイクル・リペアなど活用していくことも当然必要である。

かつて着物文化の日本から、近年繊維産業が飛躍的に発展し、優れた技術を持つ個々の企業や職人の技を持って繊維業界が発展してきた。その後、海外企業の振興や輸入が増えるにつれ、細分化された分業で後継者問題等もあり、伝統も含めて日本の繊維産業の在り方が問われている。認証はあくまでツールにすぎず、その基準に目を通してみると、今までの事業の在り方、管理体制、環境や人権への配慮など、参考にしたり改善に役立つ部分もあるかも知れない。特に社長や親方の頭の中を棚卸し、文書やマニュアル化すること、企業としてのマネジメントの見直しや、

世界共通の基準の採用、自然環境と生物多様性の保護と貢献、人権・地域社会に配慮、科学的根拠・客観的証拠に基づいた審査、国際ガイドラインに準拠、多様な利害関係者の意見を反映、審査過程の高い透明性、認証製品のトレーサビリティの確保などである。そして、第三者が審査・確認しているという信頼性・透明性の元、

認証制度は環境・社会上の問題が、一定水準以上改善されているかを第三者が評価する仕組みとして、認知されている。

8 何ををもってサステナブルなのか

昨今、何ををもってサステナブルか？という点が不明確であることが、消費者理解や購買に繋がらないという点にも関係している。SDGs時代において、サステナブル・エシカル(倫理的)な製品だということが多く謳われ始めているが、販売している製品の一部分のみがサステナブルの要素を持っているも、その事業者がサステナブル経営を実践しているか、また、本業で他の主力商品にも配慮がなされているのかが問われる。サステナブルで、エシカル(倫理的)な商品を求めたり関心のある消費者にとって、何を基準に商品を選択すべきか、その判断基準の一つに、認証ラベル付き製品を選択・購入する方法がある。それは、認証やラベルが意味する内容を理解して、納得した形で購入する場合と、何かラベルがついているという中身まで理解されていないがイメージで選択する、またはまったくラベルには興味を示さずに購入することもあるだろう。何を判断基準にするか、その「選択の基準」は品質・味・デザイン・価格などの他、サステナブル視点という要素がサステナブル認証の役割の一つでもある。

しかし、認証ラベルがっていないからと言って、サステナブルな配慮がなされていないということではない。つまり見える化をどう行って

いくのか、サプライチェーンが短い場合は顔が見える関係で信頼関係を築くことも、またその背景にあるストーリーを伝えることも容易である。産業化された繊維業界において、誰一人取り残さない、というSDGsの世界を2030年までに実現させるために、私たち一人ひとりが、普段身に着ける衣類や手にするタオルなどの繊維製品が、少しでもサステナブルであるために。ビジネスではどのように実践していくか、消費者としては見分ける一つの手段として、認証を活用することが可能である。

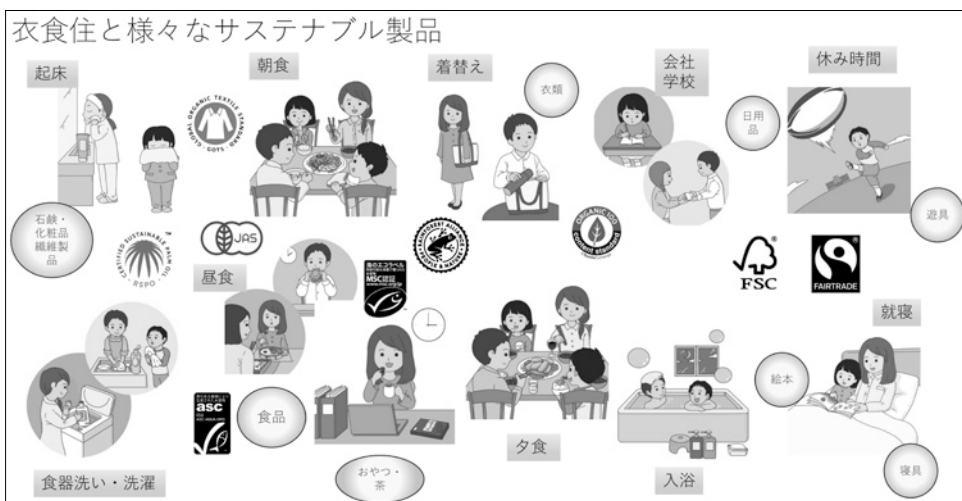
9 サステナブル・ライフスタイルの実現に向けて

サステナブルなライフスタイルを実践したり、例えば有機食材を好む人は、他の食材の水産物をMSCやASCなどの食材や、衣類にもこだわりオーガニックやサステナブルなファッションを好む場合もある。そのようなセレクトショップも増え、サステナブル商品のポップアップやオンラインで購入できるサイトも増加傾向にある。自然の生態系も環境も、人の暮らしの衣食住も繋がっており、サステナブル認証から他の業界への関心や選択の広がりも見受けられる。

サステナブル・ライフスタイルに向けて、必要となるのがサステナブル・エシカル消費である。それを支えるのは、事業者側の持続可能な責任ある調達であり、加工流通過程における環境社会的配慮がなされ、そのサプライチェーンが繋がることで実現可能である。では背景にあ



国際認証とサステナブル消費



衣食住とサステナブル・ライフスタイル

- 参考文献 1) 環境省サステナブルファッション, (2022年11月8日確認)
https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/index.html
 2) 電通ニュースリリース, (2022年11月8日確認)
<https://www.dentsu.co.jp/news/release/pdf-cms/2021025-0426.pdf>

本稿は、一般社団法人日本繊維機械学会発行の繊維機械学会誌「月刊せんい」第75巻8号に掲載されたものを、組版を変更し再掲載させていただきました。

るストーリーをどう伝えるのか。様々な企業がサステナブル調達方針を掲げ、その手段の一つとして認証を活用する動きもある。それは、消費者にとつてのサステナブル調達とも連動するのではなからうか。

いつか、認証基準が求められることが当然のように事業でも浸透し、認証やラベルに頼らずとも、

サステナビリティ経営やライフスタイルが当然となる時代が来るかもしれない。そして、作ってくれている人も、使い終わったあとの繊維製品の新たな生まれ変わりも、人間の知恵と技術、時には業界や世代の垣根を超えたパートナーシップで、幸せな社会形成が可能となる。そのようなサステナブル社会の実現に向けて、皆様と一歩でも社会変革が進められれば幸いです。

染色整理加工実績推移 (数量・金額・従業者数)

前年比：%

項目	織物						ニット生地				織物・ニット生地合計				従業者数	
	数量 (百万㎡)				金額		数量		金額		数量		金額		(人)	前年比
	長繊維	短繊維	計	前年比	(億円)	前年比	(百万㎡)	前年比	(億円)	前年比	(百万㎡)	前年比	(億円)	前年比		
2012年	785	696	1,482	95.2	1,274	94.1	419	97.3	493	99.5	1,901	95.6	1,767	95.6	10,848	95.5
2013年	775	652	1,427	96.3	1,232	96.7	409	97.5	469	95.1	1,835	96.6	1,701	96.3	10,570	97.4
2014年	785	638	1,424	99.8	1,267	102.8	412	100.7	476	101.4	1,835	100.0	1,743	102.4	10,262	97.1
2015年	768	653	1,421	(99.9)	1,268	100.1	403	97.8	465	97.8	1,824	(99.4)	1,733	99.5	10,162	99.0
2016年	767	648	1,416	99.6	1,251	98.6	401	99.7	460	98.8	1,817	99.6	1,710	98.7	10,321	101.6
2017年	778	643	1,421	100.4	1,242	99.3	400	99.8	448	97.5	1,821	100.2	1,690	98.8	10,076	97.6
2018年	774	628	1,402	98.7	1,233	99.3	411	102.6	455	101.5	1,813	99.6	1,688	99.9	10,196	101.2
2019年	756	605	1,361	97.0	1,217	98.7	402	97.7	442	97.0	1,763	97.2	1,659	98.3	9,985	97.9
2020年	601	567	1,167	85.8	977	80.2	347	86.5	370	83.7	1,514	85.9	1,346	81.2	9,703	97.2
2021年	619	557	1,176	100.8	1,019	104.3	379	109.1	397	107.5	1,555	102.7	1,416	105.2	9,513	98.0
2021年1-3月	148	139	287	89.4	241	86.8	89	93.3	94	90.3	376	90.3	335	87.8	9,568	96.5
2022年1-3月	152	136	288	100.3	257	106.7	92	103.1	95	101.4	380	101.0	352	105.2	9,339	97.6
2021年4-6月	156	137	293	100.5	254	106.5	96	116.8	102	119.3	389	104.1	356	109.9	9,541	96.1
2022年4-6月	152	138	289	98.7	268	105.5	94	98.4	102	99.8	383	98.6	370	103.9	9,377	98.3
2021年7月	51	49	100	114.4	84	120.4	32	121.7	34	124.1	132	116.1	118	121.4	9,578	97.0
2022年7月	51	47	97	97.5	91	108.4	32	99.2	35	104.5	129	97.9	126	107.3	9,351	97.6
2021年8月	50	41	90	112.9	80	120.5	30	124.9	31	125.2	120	115.6	111	121.8	9,563	97.3
2022年8月	48	42	90	100.4	86	108.0	32	106.0	34	109.9	122	101.8	120	108.5	9,314	97.4
2021年1-7月	355	325	680	97.1	579	98.8	217	106.5	230	106.0	898	99.2	809	100.8	-	-
2022年1-7月	354	321	675	99.2	616	106.4	218	100.4	232	101.1	893	99.5	848	104.9	-	-
2021年1-8月	405	366	770	98.7	659	101.0	247	108.4	261	108.0	1,017	100.9	920	102.9	-	-
2022年1-8月	402	363	765	99.4	702	106.6	250	101.1	266	102.2	1,015	99.8	969	105.3	-	-

(従業者数は3月・6月・7月・8月末)

(注) 2021 (令和3)年以前の数値は、経済産業省 生産動態統計年報 繊維・生活用品統計編による確定値、2022 (令和4)年の数値は、生産動態統計月報の累計です。

2015 (平成27)年1月に経済産業省 生産動態統計調査が改正され、削除、統合された品目があります。

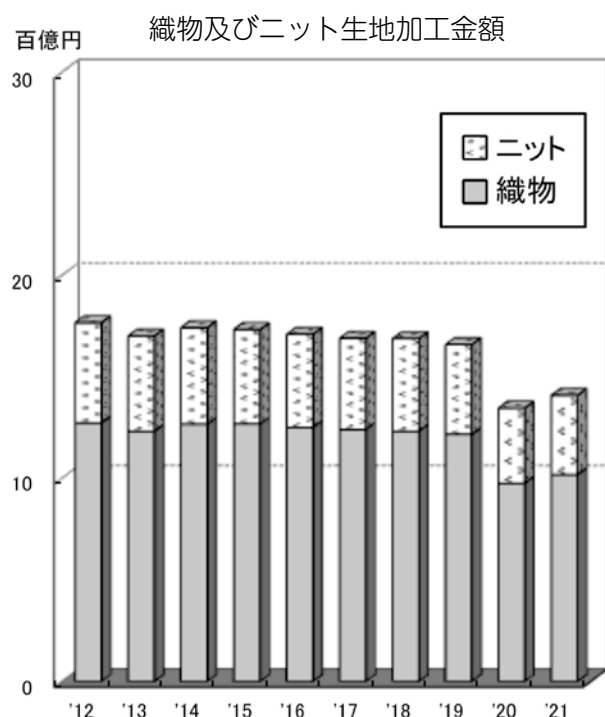
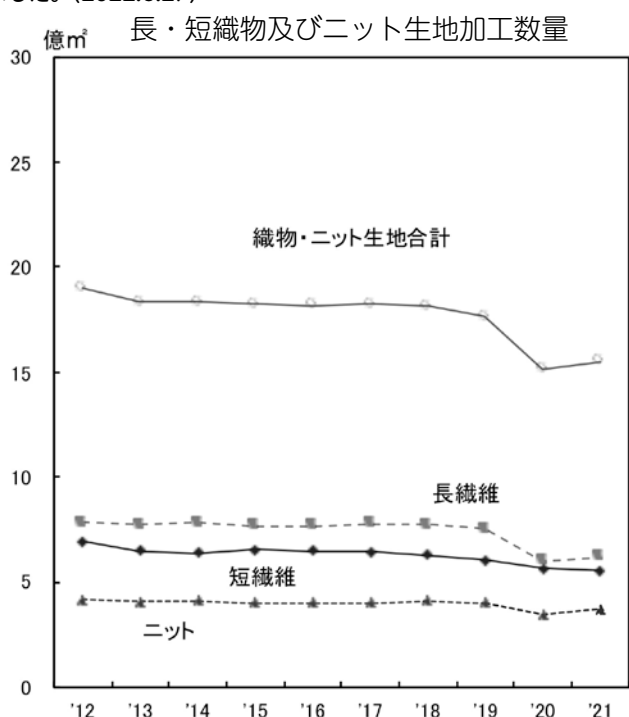
2015 (平成27)年 削除：織物の「麻織物」、毛布の「毛布」及び「加工金額」

加工数量の前年比の()内の数値は、2015 (平成27)年改正に対応するため、2014 (平成26)年の数値から削除された「麻織物」を差し引いた数値と比較して算出した比率です。

四捨五入により下一桁に誤差の生じる場合があります。

比率は数量千㎡、金額千円単位での計算値。

※2021 (令和3)年経済産業省 生産動態統計年報が公表されましたので、2021 (令和3)年の数値を、月報の数値より年報による確定値に変更いたしました。(2022.6.27)



(注) 2015 (平成27)年に経済産業省 生産動態統計調査が改正され、削除された品目があります。

Basic knowledge of Harmful substances – 有害化学物質の基礎知識④

SDGsが目指す世界の具現化に向けて、繊維・ファッション産業における取組が進んでいます。

特に人体や自然環境に悪影響を与える有害化学物質対策は重要なテーマとなっており、原料・加工等の生産工程でそれらを排除する動きが活発化しています。

アジアで唯一のエコテックス®試験・認証機関であるニッセンケンでは、早い段階からこのテーマに取り組み、化学物質管理に関するノウハウと知識を蓄積してきました。また有害化学物質の環境排出ゼロを目指す世界的有志企業連合「ZDHC」にも加盟し、認定試験機関となっています。

有害化学物質対策には、各物質の特徴を知ることが重要です。2022.9-10月号に続き、各種規制対象物質の特徴等をお伝えしていきますので、ぜひ参考にしてください。

File.07 臭素系難燃剤

臭素原子を含む難燃剤のことを指しており、安価で難燃性が高いため広く使用されています。臭素系難燃剤に含まれる主な有害化学物質として、PBB（ポリブロモビフェニル）と、PBDE（ポリブロモジフェニルエーテル）があります。PBDEの中でも、臭素が10個結合したDeca BDE（デカブロモジフェニルエーテル）は有害化学物質規制法における禁止物質に指定されています。

■臭素系難燃剤の用途

プラスチック、ゴム、繊維などに難燃化を目的として添加することで可燃性物質を燃えにくくします。臭素系難燃剤の中でもDeca BDEは広く使用されています。有害化学物質発生の問題により、かつて主流だったPCB（ポリ塩化ビフェニル）難燃剤から臭素系難燃剤に切り替わったものの、臭素系難燃剤も毒性、難分解性の観点から規制が進んでいます。

■臭素系難燃剤の毒性

Deca BDEは、ヒト生殖細胞に遺伝的突然変異を誘発する可能性がある化学物質に設定されています（GHS分類 生殖細胞変異原性 区分2）。また、自然環境で分解されにくく生物蓄積性も高い物質であるため、環境や健康への影響が懸念されています。

■臭素系難燃剤の主な規制

- ▶エコテックス®スタンダード100
- ▶化審法
- ▶POPs条約
- ▶RoHS指令

■エコテックス®事業所からワンコメント

エコテックス®スタンダード100では、PBB及びPBDE以外にもリン系難燃剤や塩素化パラフィン等が規制対象となっています。

File.08 シロキサン

（環状）シロキサンとは、ケイ素原子上に2つのメチル基を持つケイ素原子（Si）が酸素（O）原子と結合したジメチルシロキサン単位（CH₃）₂Si-O-を有する環状構造を持つ化合物で、シリコン製品の製造原料として使用されます。代表的なシロキサンには、D4（オクタメチルシクロテトラシロキサン）、D5（デカメチルシクロペンタシロキサン）、D6（ドデカメチルシクロヘキサシロキサン）があります。

■シロキサンの用途

シロキサンからなるシリコンは耐熱・耐寒性があり化学反応を起こしにくく、その化学構造によりオイル、ゴム、樹脂状の性状を持つことができます。そのため建設、電気・電子、自動車、繊維・レザーなど様々な工業分野、日常生活で使用されています。

■シロキサンの毒性

難分解性や生物蓄積性があると言われ、新規の環境汚染物質との見方もされています。

■シロキサンの主な規制

- ▶エコテックス®スタンダード100（規制物質：D4、D5、D6）
 - ▶化審法（規制物質：D4、D6）
 - ▶REACH SVHC（高懸念物質）（規制物質：D4、D5、D6）
- ※SVHCは、今後欧州域内での使用に際して特別な認可が必要な「認可対象物質」候補でもあります。

■エコテックス®事業所からワンコメント

シロキサンは繊維製品の摩擦係数を小さくする機能を持ち、油剤や柔軟加工に使用される加工剤などはリスクが高まるので、薬剤の選定に注意が必要となります。

【エコテックス®及び規制物質に関するお問い合わせ先】

一般財団法人ニッセンケン品質評価センター ライフ アンド ヘルス事業本部 エコテックス®事業所
〒124-0012 東京都葛飾区立石4-2-8
Tel：03-5875-6055 / E-mail：oeko-tex@nissenken.or.jp



ニッセンケン エコテックス®
公式ウェブサイト

一般財団法人ニッセンケン品質評価センター（本部）

〒111-0051 東京都台東区蔵前2-16-11 TEL：03-5830-6030 E-mail：pr-contact@nissenken.or.jp

お知らせ

11月は「下請取引適正化推進月間」です!

～適正な 価格転嫁で 未来を築く～

中小企業庁および公正取引委員会は、下請取引の適正化について、下請代金支払遅延等防止法(下請法)の迅速かつ確かな運用と違反行為の未然防止、下請中小企業振興法(下請振興法)に基づく振興基準の遵守を指導すること等を通じ、その推進を図っており、毎年11月を「下請取引適正化推進月間」とし、下請法の普及・啓発事業を集中的に行っております。詳しくは下記HPをご参照ください。

経済産業省HP：11月は「下請取引適正化推進月間」です！

<https://www.meti.go.jp/press/2022/10/20221005003/20221005003.html>

公正取引委員会HP

<https://www.jftc.go.jp/event/kousyukai/shitaukeyuetsu.html#cmsshitauke>

適正取引支援サイト(中小企業庁運営)

<https://tekitorisupport.go.jp/>

編集後記



毎年10月末にノーベル賞の発表があり、今頃は浮ついた空気が世間を覆っているのだが、残念ながら今年は、日本人の受賞がなく静かな毎日である。ところでノーベル賞ってどんな賞なのだろうか。

ノーベル賞は1901年に設立された国際的な賞で、医学生理学・物理学・化学・文学・平和・経済の6分野があり、授賞式は毎年、賞の設立を求めたアルフレッド・ノーベル(1833年～96年)の命日である12月10日に、スウェーデン・ストックホルムなどで開催される。

ノーベルは、子どもの頃に偉人物語等でご存じの方も多いと思うが、爆薬のダイナマイトを発明したスウェーデンの化学者で、巨万の富を築き「ダイナマイト王」とも呼ばれた。一方で、ダイナマイトは戦争で使われる兵器に転用され、多くの命を奪うことになり、このことを悔やんだノーベルは、自身の遺産の使い道について「毎年、その前年に人類に最大の恩恵をもたらした人に賞金として支給すること」と遺書を残した。

遺産は約3100万スウェーデンクローナで、現在の日本円で約224億円に相当し、ノーベル財団がそのお金を運用して出た利益から賞金が分配されている。賞金額は景気動向などによっても変化し、2021年は1000万クローナ(約1億200万円)だった。一つの賞で複数の受賞者がいる場合は賞金を分け合う。賞金の使い道は、1921年に物理学賞を受賞したアインシュタインは妻との離婚時の慰謝料や養育費に充てた。他には趣味のバイクを購入したり、教会に寄付したりするなど受賞者によって様々である。ちなみに日本では、所得税法で「ノーベル基金からノーベル賞として交付される金品」を非課税としており、これまでの受賞者は満額を受け取っている。

これはめったにない名誉なことなので、当然のことだと思うのだが。

どうか皆様のご意見、ご希望、ご感想なんでも結構ですので、是非お寄せ下さい。お待ちしております。

(E-mail adress:gyoumu.osk@nissenkryo.or.jp)

一般社団法人日本染色協会 松室 登美恵

主要行事 2022年9月・10月

一般社団法人日本染色協会

第2回技術・環境対策委員会

10月20日 於 Web会議

技術講演会

10月20日 於 Webセミナー

日本繊維産業連盟

繊維産業における責任ある

企業行動ガイドライン説明会

9月22日 於 Web会議

日本繊維技術士会

東海支部公開技術講演会

9月8日 於 ウィンク愛知

全国短繊維織物無地染工業組合

第2回企画・情報委員会

10月5日 於 Web会議

経済産業省

化学物質管理セミナー2022

10月12日 於 Webセミナー

繊維学会

繊維学会誌編集委員会

10月13日 於 Web会議



地域に寄り添い、
世界を結ぶ。



興和江守株式会社

本社 / 〒918-8510 福井県福井市毛矢1-6-23 TEL.0776-36-1133 FAX.0776-36-4002

染協ニュース 2022年11-12月号 Vol.339
令和4年11月15日発行

発行／一般社団法人 日本染色協会
JAPAN TEXTILE FINISHERS' ASSOCIATION.
URL <http://www.nissenkyo.or.jp/>

無断転載厳禁

東京事務所 〒101-0047 東京都千代田区内神田一丁目15番2号
神田オーシャンビル2階
TEL 03(5577)6876 FAX 03(5577)6877

大阪事務所 〒541-0051 大阪市中央区備後町三丁目4番9号
輸出繊維会館7階
TEL 06(4963)2315 FAX 06(4963)2319

いいものは、きもちいい。
 ———— こだわりの品質、ジャパン・コットン。



綿100%
 「ピュア・コットン・マーク」

**JAPAN
 COTTON**



Pure Cotton

綿混率50%以上
 「コットン・ブレンド・マーク」

**JAPAN
 COTTON**



Cotton Blend

日本で生まれて日本に育った私たちは、日本人だけに分かる心地よさを知っています。たとえば、春の日溜まりのぬくもり、夏の打ち水の涼しさ、障子からもれる明かり、鈴虫の音色。日本人だからこそ分かる本当の快適さを、しっかりと保証するための印を作りました。

ジャパン・コットン・マーク。日本国内で製造した高品質の綿素材を使用した製品だけに、その優れた品質を保証して添付されます。

お問い合わせ ● 日本紡績協会 TEL.06-6231-2665



- 用紙：琵琶湖の環境保全活動を支援する寄付金付びわ湖環境ペーパー 責任ある木質資源や再生資源を使用したFSC®認証用紙
- インキ：環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
- 印刷：有害な廃液を排出しない水なし印刷
- 製造：廃棄に発生するCO₂をカーボンオフセット済
- CO₂排出量：906.7g/部